

ともに



～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～
小城市立小中一貫校芦刈観瀾校学校便り
第3号 令和8年 4月20日(月)
文責：副校長 深川 治孝

芦刈観瀾校「学びの7本柱」

本校では、子どもたちの学力向上に向けた取り組みの1つとして、学びに向かう姿勢の確立を目指して「学びの7本柱」を設定しています。

どのきまりも基本的なことばかりですが、まずは、こうした生活習慣・学習規律をしっかりと身に付けさせることで、子どもたちの学力を高めていきたいと考えています。

合わせて、文部科学省が掲げる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、教員による授業改善も図ってまいります。

今年度も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学びの7本柱

- ① 次の準備!
- ② 5分休み・10分休みは平静に!
- ③ 2分前着席!
- ④ よい姿勢!
- ⑤ 反応! (返事・発言・うなずき)
- ⑥ はっきり話す!
- ⑦ 整理整頓!

人権教室について

本校の小学部では、毎月「人権教室」を行います。人権・同和教育担当を中心に、各月に設定されたテーマに沿って実施します。形態は、全校、上/下学年別、各学級と、月によって異なります。

4月16日(木)に、「人権、なかまづくりについて」というテーマで、各学級で学習しました。

はじめに、「自分を大切にすることやほかの人を大切にすること」などについて学んでいくことを確認し、人権とは、「一人ひとりが生まれたときから持っている“自分らしく生きる権利”」であることや、人はみんなたくさんの権利をもって生まれてきた「とっても大切な人」であることについて、子供たちに話をしました。

また、たくさんの権利のなかでも「安心」「自信」「自由」は特に大切な権利であることや、これらの権利が誰かの手によって奪われそうなどときには、一人で頑張らず、誰かに助けを求めてよいのだということについても話しました。

すべての子供たちが、自分やまわりの人を大切にできる心を持ち、学校が「みんなが安心して過ごせる場所」になるよう、年間を通して指導していきます。

人権とは、
一人ひとりが生まれたときから
持っている
「自分らしく生きる」権利
のこと

あなたは
たくさんの権利をもって
生まれてきた
とっても大切な人

大切な自分を守るために

安心 自信 自由



1年生の初めてシリーズ

1年生が入学して、1週間が経ちました。しばらくは学校、教室に戸惑った感じできょろきょろとしていましたが、今では学校や先生、友達にも少しずつ慣れ、芦刈観瀾校の小学生の一員として少しずつ力を発揮しているようです。

4月16日(木)は、初めて給食を食べ、掃除をする記念日でした。

まず、給食。初めての給食は、「あげパン」「バンバンジー」「クリームシチュー」「牛乳」でした。前号にも書きましたが、芦刈観瀾校には給食室があり、毎日とてもおいしい給食を作ってくださいます。給食までに担任から給食の食べ方について学んだ子供たち、「いただきます!」のあいさつとともに、一斉に目を輝かせながら食べていました。給食もまた、少しずつ慣れていってほしいですね。



給食の後昼休みを過ごし、初めて掃除をしました。教室、廊下など、広い校舎を相手にきっと苦戦するだろうと思っていたら、心強い助っ人、6年生が参上しました。実は、1年生が朝登校した後、ランドセルから道具を出したり、棚に片付けたりするサポートをしてくれていたのです。掃除のときも、ほうきの扱い方、雑巾がけの仕方など、優しく教えながらお手本も見せていました。素晴らしい姿ですね。学校では、下級生は上級生の姿を見て育ちます。1年生と6年生のこれからの成長がとても楽しみです。

